

【飼料学】

ある飼料の成分は、水分11%，粗蛋白質15%，粗脂肪3%，可溶無窒素物34%，粗纖維22%，粗灰分15%で、このうち、牛における可消化成分の消化率は、順に70%，60%，80%，50%である。この飼料の可消化養分総量はおよそ何%か。

1. 43%
2. 48%
3. 53%
4. 58%
5. 63%

【正答番号 3】

**大学卒業程度：畜産
専門試験**

【畜産経営一般】

次の文章は「令和2年度食料・農業・農村白書」に基づく、我が国の肉用牛の生産基盤の強化に関する記述である。文章中の空欄a～cに入るものの組合せとして正しいのはどれか。

農林水産省は、肉用牛の生産基盤の強化を図るため、a等の支援組織の機能強化を支援し、生産性の向上と省力化を推進している。また、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するためのbにより経営の体質強化を進め、さらに輸出の拡大に向けて和牛の生産拡大を進めるため、繁殖雌牛を対象としたcの交付等を行っている。

a	b	c
1. コントラクター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
2. コントラクター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
3. GPセンター	畜産環境対策総合支援事業	日本型直接支払
4. GPセンター	畜産クラスター事業	増頭奨励金
5. GPセンター	畜産クラスター事業	日本型直接支払

【正答番号 2】